

## 母校のトピックス



### 城陵祭 体育の部

令和5年度恵那高等学校第75回城陵祭体育の部は、9月5日(火)本校グラウンドにおいて開催された。残暑厳しく猛暑日が続くなか、台風は元より熱中症が心配されたが、当日は快晴、気温32度という恵まれた天候で体育の部を行うことができた。

体育の部は、コロナ過で3年連続中止となっており、生徒の中に経験者はおらず、青紅白各団の先輩から後輩への引継ぎは無くなっていた。当初、応援合戦は実施せず、競技のみを行うという考えもあったが、応援合戦の復活を望む生徒会や生徒の有志によって、応援団が組織された。生徒達は過去の資料や写真を参考に、運営方針や評価基準を企画し、伝統を大切にしつつも、自分達なりの新しい城陵祭体育の部を創り上げていった。

当日は、団対抗リレー、綱引き、騎馬戦、部活動対抗、応援合戦と、白熱した競技を繰り広げ、応援の声グラウンドに響き、近年みることが無かった盛り上がり、生徒のはつらつとした笑顔が多くみられた。

城陵祭体育の部を通して、恵那高生の「自らが望む未来を切り開く力」が育まれていることを感じる事ができた。



### 音楽部 第46回定期演奏会を終えて 音楽部顧問 後藤 和世

令和6年3月27日に、中津川文化会館にて開催いたしました。今年度のテーマを「Power of Music～音楽から繋がる想い～」とし、コンクール報告演奏や銀河鉄道999などのポップス、ジブリ名曲シリーズ、混声合唱曲集「等圧線」などを披露しました。

マスクなしでは歌えなかったあの日々から解放されるように、隣で歌う仲間と声を合わせる喜びを全身で味わいながら、高校生らしく若いエネルギーにあふれた合唱を客席に届けることができました。歌声が会場に共鳴するたびに、あるべきところに帰ってきたような温もりが感じられる演奏会となりました。

本番では、コロナ禍とともに過ごした卒業生が裏方として、後輩たちの頑張りを温かく見守る様子に胸が熱くなりました。このようにして音楽を通して、互いを思いやる気持ちや友情、そして絆を育みながらここまで繋がってきたこと、この4年間は決して失ったものばかりではなかったことを、このステージで改めて実感することができました。これもひとえに、同窓生のみなさまのお力添えがあったのことに深く感謝いたします。



Ena High School Topics



## 2022 温故知新！恵那高創立100周年 100周年記念事業を終えて

## 「新しい100年」の 第一歩を踏み出すに際して

### 校長 森岡 孝文

同窓会会員の皆様には、平素より母校の教育活動に多大なるご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

お陰様で昨年度は、創立100周年記念式典を本校の体育館で盛大に執り行うことができました。当日は多くの同窓生の方々にお集まりいただき、在校生も同席して、100年の伝統の重みを感じさせる厳粛な式典となりました。またその一方で式典の最後には、ご講演をいただいた本校の音楽部のOBで東京大学副学長の関村直人教授を囲んで、現役の音楽部を中心に在校生や同窓生による校歌の大合唱となるなど、心温まる和やかな雰囲気の中で終わることができました。これもひとえに同窓会の皆様の献身的なご支援の賜物であると心からお礼申し上げます。また、その後の大同窓会や様々な関連イベントの盛り上がりは、恵那高校が同窓生はもとより地域にとってかけがえのない大切な学び舎であることを内外に示し、これによって「新しい100年」に踏み出す強靱な基盤が築かれたと確信しております。

さて、創立100周年記念式典の余韻が冷めやらぬ中、本校は「新しい100年」に向けて新たな一歩を踏み出していかなければなりません。「新しい100年」は、「望む未来を私たち自身で示し、創り上げていくことが求められる時代」と言われています。

本校は、令和6年度から新たに5年間、文部科学省にスーパーサイエンスハイスクール(SSH)の指定を受けました。本校におけるSSHは、平成16年度に最初の指定を受けて以来、昨年度まで20年の実績があります。今回の指定における大きなポイントは、新たに普通科を含めて全校的にSSHを実施することです。その背景には、文理を問わず探究学習の重要性が増して「総合知」が社会に求められているからです。今後は自らの専門性に依拠しながらも、自然科学、社会科学、人文科学のそれぞれの専門家とも

応答可能な柔軟な資質が求められているのです。

同窓会の皆様には、創立100周年記念式典・記念行事はもとより、花ノ木会館の自習室の整備、恵那地球塾(本校独自の留学制度)や恵那田舎塾(地元で活躍している方による公演会)等のご支援をいただいております。今年度から新たに本校の探究活動を資金面で支える「探究イノベーター支援事業」を立ち上げていただきました。

「新しい100年」への第一歩を踏み出すに際し、同窓会の皆様のご支援に重ねてお礼申し上げますとともに、引き続き本校の教育活動に一層のお力添えをお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸、そして城陵会のますますの発展を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。



# 100周年記念事業へのお礼

恵那高校同窓会  
会長 阿部 伸一郎

「温故知新、恵那高創立100周年」の旗印のもと、一世紀に渡る歴史を振り返るとともに、母校の更なる発展を期して昨年10月8日に開催された100周年記念事業は、想像を超越した素晴らしいものとなりました。

厳粛とした雰囲気の中、同窓の東京大学副学長関村直人教授の講演を柱とした記念式典、そして、「大同窓会」に駆け付けた1,000人も同窓生で合唱した校歌に大会の歌、和太鼓演奏を始めとしたステージ、思い出深いグランドから打ち上げられた花火など等、心に残る瞬間の数々を共有できたことを誇りに思います。

ここに至るまでは長い道のりでした。7年間に渡る準備活動に多大な労力を惜しまずにお貸し頂いた実行委員会の面々、教職員

は基より、東京、名古屋、土岐、瑞浪、中津川、定時制の各地の同窓会組織の方々、快く寄付に応じて頂いた皆様、当日の記念式典および大同窓会にご参加いただいた同窓生など等、数限りない皆様の熱意と結束力が100周年の大成功へと繋がりましたこと感謝申し上げます。

今後も、今回の100周年を機に更に深まった絆を大切に、より魅力ある母校とならんがための同窓会であり続けたいと考えております。

結びにあたり、100周年にご協力を賜った全ての皆様に、心よりの敬意を申し上げ大会実行委員長としてのお礼の挨拶と致します。



## 2022 温故知新！恵那高創立100周年 100周年記念式典・大同窓会開催

2023年10月8日(日)恵那高校創立100周年記念式典・大同窓会が盛大に執り行われました。当日は、あいにくの雨で予定していた会場を急遽変更しての開催でしたが、実行委員会と先生方の協力により、学校を会場とした100周年記念事業を迎えることができました。



式典受付では、ご来場の皆さまを在校生がお出迎えました。

### 記念式典



100周年を紹介するDVDの上映のあと校旗の入場



森岡校長の式辞



阿部実行委員長のあいさつ



33回生でもある小坂恵那市長の祝辞



岐阜県教育委員会より市川代表、西山 PTA 会長のあいさつ



水野県議会議員(29回生)あいさつ



歴代功労者への感謝状の贈呈



東京大学副学長 関村直人教授(29回生)の記念講演



片田しの前期生徒会長あいさつ



関村教授と音楽部生徒による合唱



100年表パネル展示



記念講演のサテライト会場



総合案内・100周年記念グッズ販売

美術展



第2体育館で10月8・9日で開催された記念美術展  
9日には卒業生による演奏会も行われました



大同窓会

大同窓会と銘打って開催された記念懇親会は、実行委員会の学内で開催したいという要望で当初グラウンドでの開催予定でしたが、雨天により急遽、体育館に会場を変更しました。  
式典終了の後、短時間での会場変更は、参加者も加わり30分という短時間でオープニングを迎えることができました。



高木副実行委員長(34回生)による開会の挨拶



オープニングは和太鼓衆SHIN、日本の伝統楽器のパフォーマンス



52回生 額縁悠輔のロックバンド「オトループ」の演奏



参加者は年代ごとにテーブルに分かれ、同級生や先輩との再会を喜んだり、恩師と写真を撮ったり、楽しんでいました



参加者のお腹をみたくフードエリア



最後は、城陵歌斉唱!

当日の様子は、100周年記念ホームページでレポートや動画でご覧いただけます。



秋の夜空を彩る花火で大同窓会を閉会しました

# 城陵の地に花火が上がった夜

35回生 同窓会副会長 鎌田 基予子



創立100周年記念事業が、みなさまの温かいご支援のもと、一世紀の節目を祝う盛大な催しとなりました。心よりお礼申し上げます。ご挨拶が遅れましたが、私は平成29年度より同窓会副会長を拝命し、このたびの100周年記念事業に向けて、阿部実行委員長率いる100周年実行委員会副委員長として奮闘して参りました。今は祭りの後の余韻に浸りつつ、さらなる恵那高校の魅力化のために同窓会の支援体制を整えているところです。

100周年記念事業の取り組みを振り返りますと、準備期間を含め約7年の月日を実行委員の仲間たち(大先輩もかわいい後輩も同じくりにさせてください)と共にしました。広報委員会の取り組みの中でとてもユニークな企画があり、「あなたにとって恵那高校とは?」と、OBOG、現役恵那高生にひとことで語ってもらい、それを1本のビデオにして大同窓会当日に公開していました。私は突然マイクを向けられその問いかけをされた時、意外とすんなり『つながり』、と自分なりの答えを出していました。今回の100周年事業を通じて、まず地元で活躍している同窓生の多さに気づかされ、さらに国内国外で飛躍されている同窓生に驚き、そしてすべての同窓生が、同じ学び舎で3年間を過ごした、というただ1点の共通項のもとに、これほどまでに簡単につながってしまうという不思議な一体感。人と人とのつながりを生み出してくれ

る、それが私にとっての恵那高校であり、それは今回の100周年を突き動かした同窓生の力にもつながっていると実感しています。

さて、私事で恐縮ですが、100周年を待たずに、恵那高校を愛してやまなかった父が他界しました。

100周年を見届けることがかなわないと悟った父は、「一つお願いがある。できれば老若男女が集う100周年にしてほしいな、阿部さんはそれができる人だから」と私に言い残していきました。父の思いを言葉にするまでもなく、阿部実行委員長の構想の中にはすでに老若男女が集う絵が描かれていて、それが現実となった10月8日の大同窓会は、まさに父が望んでいた100周年の宴となり、フィナーレの花火は、集まった老若男女たちのそれぞれの思いを受け止め城陵の夜空を彩りました。

結びに、学校教職員の皆さまにも心より感謝申し上げます。実行委員会の立ち上げから100周年当日までの間に、3人の校長先生が見事にそのバトンをつなぎ、学校が一体となって100周年記念事業を支えていただきました。

これからもなお一層、学校、生徒、同窓会のトライアングルを大切にしながら同窓会の役割を果たしていきたいと思ひます。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

# 関村直人教授最終講義に参加して

27回生 井口 嘉則(1979年3月東大文学部社会学科卒)



去る3月1日、昨年10月の恵那高創立100周年記念講演を行って頂いた東大副学長の関村直人教授(当時)の最終講義にOBとして参加してきました。OB会からは、阿部伸一郎同窓会長を始め30名近くの方が参加し、盛会となりました。

最終講義は東大の安田講堂で行われたのですが、同講堂は1960年代の東大紛争により長らく閉鎖されていて、私が文学部社会学科在学中は一度も入ることが出来ませんでした。それが、同郷(落合出身)で2年後輩にあたる関村教授が、その記念すべき講堂で最終講義を行うという

ことで、大変感慨深いものがありました。

講義の内容は、岐阜県や恵那高の話から始まり、大学、その後の研究生生活、海外での研究活動、グローバルな学会活動等、氏の志の高さ、幅広い活躍範囲を示すもので、東日本大震災をきっかけとした原子力の安全性に対する強い想いと決意を感じさせるものでした。

氏の母校愛は強く、昨年森岡校長に引率された現役の

恵那高生数名を、お忙しい中、東大研究室見学に招いて頂きました。その結果、その中から今年3月、実際に東大受験・合格者を1名(文I)輩出することとなり、私の中学時代のエピソードにヒントを得た東大プロジェクト成功の第一号となりました。

因みに、今年の高校入試では、東濃地区では恵那高のみ定員オーバーを確保し、少子化の波の中でも自由な校風が地元での人気の一つとなっていると聞きます。これもひとえに、数年前に定員割れした際に、現同窓会長らの強い危機意識の下、学校側と同窓会側の足並みを揃えた熱心な学校改革の賜物であると思ひます。

こうした活動を継続・発展させていくことで、第二の関村、いやそれを超える存在が将来現れることを期待しています。



# 100周年を機に「東大プロジェクト」が発足

同窓会長 阿部 伸一郎



同窓会では、創立100周年を機に新たに「東大プロジェクト」を発足致しました。この企画を思いついたのは、数年前に東京大学を受験した本校生徒の母親から聞いた次の話しがきっかけでした。

入試の朝、親子で東京大学へ向かうと開門を待つ受験生とその親が列をなす沿道には、右を見ると現役東大生の各部部員によるバラエティーに富んだ応援が、左には幾つもの有名予備校が特大応援旗をなびかせ応援すると言う完全アウェイの雰囲気にもまれてしまっていました。開門と同時に受験生が一斉に入場し、その波に押されながら受験票を片手に試験会場までどりついた時には、残念ながらいつもの力を発揮する精神状態になく悔しい思いをしたと話してくれました。



流石に受験当日に本校から応援団を送ることは出来ませんが、在学中に少しでも

「場慣れ」しておくことは価値あることと思います。そこで、本校卒業生で、東大で教鞭をとる関村直人教授(29回生)、金子孝之准教授(31回生)のご協力を仰ぎ実際に大学で授業を体験すると共に翌日は慶応、早稲田などの名門校を訪ねると言う企画をスタート致しました。

その成果かどうかは分かりませんが、昨年の第一回「東大プロジェクト」に参加した生徒が、この春晴れて東大文一に合格致しました。

同窓会では、このプロジェクトを始めとする恵那高校ならではの仕組みに経済的支援をしようと毎年2百万円を募って行きたいと考えております。どうか皆様のご理解とご協力を賜らんことをお願い申し上げます。



## 創立100周年記念事業

～温故知新! 恵那高創立100周年～

### 記念事業

- 花の木会館改修
- 記念誌発刊
- 記念DVD制作
- 中尾昭公先生講演会
- 記念グッズ販売(切手等)
- 花の木セミナー開催
- 記念美術展開催
- 記念植樹
- 記念ゴルフ大会開催(恵那峡 CC)
- 街角ピアノ設置(パロー)
- 記念式典・懇親会



記念誌発刊・記念DVD制作



花の木会館改修



街角ピアノ設置

好評販売中!!

残りわずか!

## 100周年記念誌

恵那高校100年の歴史を掲載。初代校長阿部栄之助と文豪島崎藤村の関わり、歴代校舎の画像、米軍政部GHQによる急速な学制改革、岐阜国体の開催など、永遠不滅の記録を同窓生にお届けします。

DVD  
2枚付記念誌  
+  
写真で綴る  
学校沿革史



(郵送無料)

価格 4,800円

お問い合わせ先  
岐阜県立恵那高等学校  
TEL0573-26-1311

お申込み方法



好評販売中!!

残りわずか!

## 100周年記念切手

恵那高の歴史を綴った切手シート。校舎の移り変わりや校章の制定など10枚の歴史のシーンが切手になっています。



価格 2,000円(1シート84円10枚付)

アエルショップにて  
発売中!!  
記念グッズもどうぞ!



同窓会だより

第23回東京城陵祭・恵那高創立100周年記念パーティ開催

東京城陵会 会長 森岡 加代

令和5年10月9日、恵那高大同窓会に合わせて、東京城陵会も100周年記念パーティを開催しました。コロナ禍で4年振りの開催に選んだ会場は、銀座ライオン・クラシックホールでした。

銀座ライオンは東京城陵会月例会第1回から、この4月で447回に至るまで続く会場です。年に1度の東京城陵祭も第1回はここでの開催でした。

そこで恵高100周年を機に原点に戻り、先輩方が築いて下さった城陵会の発展を期することとしました。

当日の出席者は48名。最年長恵中OBで96歳の間先輩や末松先生をはじめ、恵那高54回生の小椋さんまで実に幅広い年代にお集まり頂きました。

前日、大同窓会が終わったばかりにも拘らず駆けつけて下さった森岡校長先生や、阿部同窓会長には心より感謝致します。また実行委員会や学校から記念品

や記念誌等を頂き、出席者は大喜びでした。和やかで楽しい会であったことは言うまでもありません。

恵那高で青春時代を送った者たちが、関東の地で親交を深める東京城陵会。

この会は銀座ライオン2階に毎月、基本第2金曜日、出席も取らずに行けば会える仲間と、昼食とビールで語り合い終わりに校歌を歌って、来月又ねと帰っていくそんな会です。日にちが合えば、上京された時には是非ご参加頂きたいと思います。

尚、次回令和6年の第24回東京城陵祭も9月23日(月)、銀座ライオン・クラシックホールにて開催いたします。東京城陵会一同、母校恵那高等学校の益々の発展を祈念いたします。



2023 (令和5年) 第23回 恵那高校同窓会 銀座サッポロライオンビル6階ホール



令和5年度同窓会総会開催!



令和5年度恵那高等学校同窓会総会は、5月20日(土)ゆずり葉(旧かんぼの宿恵那)において開催された。阿部同窓会長の議長の下、令和4年度の事業・会計・監査報告、令和5年度の事業・予算案が承認された。

恵那高校創立100周年記念式典を10月に控え、実行委員会からのアピールにも力が入った。

総会後に恵那地球塾の活動報告として1年間の海外留学を終えた3名の生徒がその成果を報告した。

総会後の懇親会にはゆずり葉の大広間ほぼいっばいの90名以上が参加し、幹事学年を中心に会を盛り上げた。

瑞浪恵窓会総会

令和6年3月17日(日)「瑞浪市地域交流センターときわ」にて瑞浪恵窓会総会が開催された。

来賓祝辞で阿部会長が100周年への協力に対して感謝を述べ、総会後には森岡校長が恵那高校の近況について報告した。さらに小坂喬峰恵那市長が講師として駆けつけ、恵那市の市政について講演した。その後の懇親会には26名が参加し、城陵歌を斉唱して閉会となった。



中津川恵那高会総会

11月25日(土)パルティールプラスにて中津川恵那高会(恵蘇会)総会が開催された。

校歌斉唱に始まり、勝会長の挨拶、来賓として阿部同窓会長と森岡校長が挨拶した。定期総会においては令和元年度からの事業・会計報告がなされ、令和5年度の活動時方針が承認された。その後は懇親会が行われ、最後は城陵歌斉唱で締めくくられた。



恵那高校5期SSH ー文部科学省スーパーサイエンスハイスクール事業ー

本校は令和6年度より新たに5年間、文部科学省のスーパーサイエンスハイスクールに指定されました。

平成16年度から4期20年にわたる指定は県内唯一であり、この間、大学や研究機関、地元企業などと連携して、Society5.0時代を牽引するキーコンピテンシーを備えた科学技術系人材の育成と、そのためのカリキュラム開発、生徒の科学研究に先進的に取り組んできました。



3年間の系統的な探究活動を通して、問題発見能力や問題解決能力の育成を図り、科学的探究力と国

際性を基本的資質として定着させる理数科の「課題研究」は、その指導法と成果について全国的に高い評価を得ています。



恵那高5期SSHでは、4期までの課題研究の取り組みを発展させ、生徒が、全ての探究につながる内発的動機に基づく問いを見つけ、粘り強く解き明かしていく力の育成を目指します。同時に、科学的・主体的に探究を深化させる探究者を育成する理数教育システムを構築し、地域の理数教育の水準の向上に貢献します。

東京城陵会 月例会のご案内

会場/「銀座ライオン7丁目店」

日時/

Table with 4 columns: Meeting No., Date, Meeting No., Date. Includes dates from May 2024 to October 2024.

※開催の有無確認先/銀座ライオン7丁目店 ☎03-3571-2590

【ゴルフ委員会】

恵那高校OBゴルフ開催!!

場所/恵那峡カントリークラブ

日時/10月26日(土)

※毎年10月の第4土曜

●お申込み

直接、恵那峡カントリークラブに電話して、名前と連絡先、何回生卒業等をお伝えください。

恵那峡CC TEL(0573)25-5111

お一人様でのご参加も大歓迎!!

# 木股健二基金「恵那地球塾」令和5年度の活動報告

## 留学支援制度

### ●5月2日(火) 第6期生留学説明会

3年ぶりに対面で開催され、生徒17名・保護者13名の参加がありました。

昨年度6月までに帰国した第3期生のあいさつの後、学校長から木股基金設立までの経緯、今後の展望などの説明がありました。

委託団体であるISAより長期留学・正規派遣留学、短期留学募集について詳細な説明があり、参加者は熱心に耳を傾けていました。



### ●5月20日(土) 同窓会総会

前述の第3期生3名が保護者と共に参加し、長期留学の成果と感謝の気持ちを報告しました。

それぞれが経験し、学んだ内容を堂々と発表してくれました。会場は感動に包まれ大拍手で報告を終えることができました。

### ●5月28日(日)～6月8日(木)第4期生帰国

4期生3名が全課程を修了し、無事帰国しました。

#### <第4期生 留学を終えて>

▶アメリカ到着後3日間だけ受け入れてくれた最初のホストファミリー、そして突然だったにもかかわらず私を快く受け入れてくれた後のホストファミリー、どちらも私を温かく受け入れてくれました。そんなホストファミリーの元で過ごせた1年間は私の一生の思い出です。(カリフォルニア州)



▶私は、留学中、何度もアメリカが「自由の国」であることを実感しました。それは一方で、自分に責任を持つ必要があるという意味にもなります。挑戦するのも、学び方も、楽しみ方でも自分で決められます。これから私の将来がどうなるのかは未だ何もわかりません。私は、留学での学びを忘れず、未来に「自由」に羽ばたいていきたいです。(ケンタッキー州)

▶留学生活の中で辛いことも楽しいこともありましたが、充実した留学生活だったと思います。留学先での出会いや思い出、学びを大切に、これからの生活に活かしていきたいです。(テキサス州)

### ●7月11日(火) 第5期生認定証授与式・出発激励式

### ●7月15日(土)～8月15日(火) 第5期生 アメリカ合衆国へ出発

選考を前年度までに終えた5期生3名の認定証授与式と出発激励式を行いました。

同窓会長、保護者を迎え盛大に行われました。出発を目前に控え、決意を深めている様子がかがえました。

第5期生は、7月15日(水)から順次、アメリカ合衆国へ向けて出発しました。



## プログラム参加支援制度

### ●12月25日(月)～27日(水) 第6回グローバルスタディーズプログラム(国内留学体験)

22名の1・2年生と、各国からの留学生3名・講師1名が参加し、実施されました。

昨年夏まで開催されていたグローバル探究プログラムと統合し、名称・内容を変更して実施しました。

SDGsや思考方法などについても研修を深め、英語漬けの3日間を楽しみました。



## その他の活動

### ●7月21日(金)ポーランド大使との懇談



駐日ポーランド共和国特命全権大使 駐日ポーランド共和国大使 パヴェウ・ミレフスキ(Paweł Milewski)氏が恵那市役所を訪問されました。恵那市長、市議会議員、同窓会長との懇談に恵那地球塾

生3名が同席しました。大使からの英語を日本語に、また市長、同窓会長からの日本語を英語に直し、この日の会合の補助をすることができました。



この1年間に、県レベルの大会などで優勝したり、全国大会に出場するなど、恵那高校の歴史に残る活躍をした生徒を同窓会が表彰するStudent of the Year賞。

今年度は個人6名と3団体を表彰しました。令和6年2月29日の表彰式では鎌田同窓会副会長から受賞者代表の陸上部山田万温さんに賞状と副賞の図書券が授与されました。



## 個人の部

### 市岡 俊祐(23組)

第71回岐阜県高等学校総合体育大会  
ボート競技 男子シングルスカル 優勝  
令和5年度全国高等学校総合体育大会  
ボート競技 男子シングルスカル 出場

### 山田 万温(34組)

第71回岐阜県高等学校総合体育大会  
男子 走幅跳 第1位(記録 6m80)

### 石原 敦史(35組)

第67回日本学生科学賞岐阜県審査 最優秀賞  
第67回日本学生科学賞 出品  
第67回岐阜県児童生徒科学作品展 最優秀賞

### 長屋 憧(35組)

第67回日本学生科学賞岐阜県審査 最優秀賞  
第67回日本学生科学賞 出品  
第67回岐阜県児童生徒科学作品展 最優秀賞

### 大河内 巖(36組)

第67回日本学生科学賞岐阜県審査 最優秀賞  
第67回日本学生科学賞 出品  
第67回岐阜県児童生徒科学作品展 最優秀賞

### 古田 龍渉(36組)

第67回日本学生科学賞岐阜県審査 最優秀賞  
第67回日本学生科学賞 出品  
第67回岐阜県児童生徒科学作品展 最優秀賞

## 団体の部

### 英会話部

2022年度 アートマイル国際協働学習プロジェクト 外務大臣賞

### 音楽部

第63回岐阜県合唱コンクール 金賞・特別賞(岐阜県教育委員会賞)  
第76回中部合唱コンクール 銀賞

### 新聞文芸部

第47回全国高等学校総合文化祭 新聞部門出場

## 令和5年度卒業生 主な合格大学

### 令和5年度 大学入試 国公立大学 105名合格! (普通科53名)

●東京大学 文科一類	合格	●京都大学 文学部	合格
●京都大学 理学部	合格	●京都大学 工学部	合格
●大阪大学 理学部	合格(普通科1名)	●一橋大学 ソーシャルデータサイエンス学部	合格
●名古屋大学	7名合格(普通科1名)	●慶應義塾大学	3名合格
●早稲田大学 基幹理工	合格	●南山大学 普通科	13名合格
●中京大学 普通科	20名合格	●名城大学 普通科	22名合格

### 合格した主な大学

◆東京大学 文科一類	1名	◆名古屋大学 工学部・電気電子情報工	1名
◆京都大学 文学部	1名	◆名古屋大学 医学部・保健/検査技術科学	1名
◆京都大学 理学部	1名	◆名古屋大学 農学部・生物環境科	1名
◆京都大学 工学部・工業化学	1名	◆北海道大学 歯学部	1名
◆大阪大学 理学部・数学	1名	◆東京外国語大学 国際日本学部	1名
◆一橋大学 ソーシャルデータサイエンス学部	1名	◆横浜国立大学 経営学部	1名
◆名古屋大学 理学部	3名	◆和歌山県立医科大学 薬学部・薬	3名
◆名古屋大学 工学部・化学生命工	1名		

合格者数(延べ人数)	□国公立四大 105名(過年度生6名)	□私立四大 383名(過年度生23名)
	□専門学校 12名	□その他 12名